

第237号
発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回15日
定価 1部 5円

なかさと

4月1日現在

人	7,259 (-51)
男	3,591 (-13)
女	3,668 (-38)
世帯数	1,665 (-7)

カッコ内は前月との比較

田沢小学校の入学式風景



教職員の人事異動

——全体の教員数に増減なし——

四月一日付で県教育委員会から発表された教職員の人事異動によると、当村では校長一名を兼ねて、転出者十九名に対し転入者十九名と教員数に増減はなく、村内全体の小、中学校教員数は昨年度と同数の八十三名となっている。学校別では田沢中が一名減となったのに対し、清津峡小が一名の増員。他の学校では増減なしとなっている。

校長の異動では、二島郡和島村立島田小学校へ転任となった猪俣八郎氏の後任として、貝野小学校長には北魚沼郡広神村立羽川小学校から市村真一氏が、東頸城郡大島村立富浦小学校へ転任となった小林和男君が、校長の後任は県教育庁中越教育事務所から田辺渉氏がそれぞれ発令された。

一般教職員の異動は次の通りです。

△田沢小学校
岡元申司郎(塩沢第二小) 教頭へ
桑原 良治(津南小) 教頭へ
高橋 鉄子(退職)
相馬 勇(東浦三小)
佐藤 和子(十日町小)

△市村立小学校
市村真一(貝野小) 校長
渡辺 修一(松代山平中) 校長
久保田利男(津南小) 校長
片桐 重弘(広神中) 校長
関口 清剛(新採用)
野島 尚美(〃)
佐藤 正則(〃)
森 啓子(〃)
△高道山小学校
高橋 克介(西蒲西川中) 校長
服部 芳雄(新潟船渠中) 校長
小林 隆一(三条第一中) 校長
△貝野中学校
渡辺 修一(松代山平中) 校長
△田沢小学校
久保田利男(津南小) 校長
片桐 重弘(広神中) 校長
関口 清剛(新採用)
野島 尚美(〃)
佐藤 正則(〃)
森 啓子(〃)
△高道山小学校
高橋 克介(西蒲西川中) 校長
服部 芳雄(新潟船渠中) 校長
小林 隆一(三条第一中) 校長
△貝野中学校
渡辺 修一(松代山平中) 校長

子どもの歯と食生活 (5)

乳児期の食生活

誕生後一年間、体重は三倍になり、つかまり歩きをし、歯が生え、消化機能も発達して乳以外の固形食を食べるようになる。心身ともにめざましい成長発達をする時期です。

●乳児には母乳を

母乳栄養は、赤ちゃんにとって自然で準備した理想的な栄養食品です。母乳には、乳児の発育に必要な成分がすべてバランスよく含まれており、消化しやすく、同時に赤ちゃんを心理的に満足させる効果をもっています。母乳で育った赤ちゃんは発育が順調で、抵抗力が強く、病気になる率が低いといわれています。人工栄養は、この母乳と同じ効果をもつように色々研究がなされているにもかかわらず、母乳にまさる育児用ミルクはできていないという事を知るべきでしょう。

●母乳栄養を確立する第一は、母親が母乳を育てるという心です。そして、生後、すぐに母乳を飲ませる努力をすることが大切です。

●母乳と歯の健康

母乳が行われる頃になると、そろそろ歯もはえ始めます。母乳の質や与え方によって、虫歯になる場合も随分違ってきます。

☆歯を強く育てるには、母乳を十分に飲ませることが大切です。母乳は、赤ちゃんの歯を強く育てるのに役立ちます。母乳を飲むときは、舌で歯茎を舐め、歯茎を強くする効果があります。母乳を飲むときは、舌で歯茎を舐め、歯茎を強くする効果があります。

☆母乳を飲むときは、舌で歯茎を舐め、歯茎を強くする効果があります。母乳を飲むときは、舌で歯茎を舐め、歯茎を強くする効果があります。

中里文芸

四月投稿

春早くつるに露のとう長けぬ
善太 四月投稿
年金を受けたる窓や春の雪
閑史
鳥籠閉む心迷う梅日和
時習
亡き母の笑顔にゆく彼岸かな
鳴石

梅活けて卒業式を飾りけり
海人
花活けて団子も煮たる彼岸かな
玉泉
春あらし庭四隅に押へ石
涼子
住き事あれ梅のくれないのみ
つ、
梅の鉢膝に転動惜みけり
栄山

春あらし又締めなおす雷鳴
直彦
梅咲くや茶室に遠く渡り石
追風
春あかつき樹液まみれの青年来
大泉
こめかみへしわよせ春の晴
おのえ
春寒や雲き顔固き路のとう
泥児
とし子

人生往来

△産声
氏名 父の名 部落
村山 千里 野田 田沢
山田 幹彦 和成 土倉 大島
高橋 寛子 早二 宮中 山田
小林 美樹 茂樹 東田 高橋
鈴木 安美 幸吉 田代 高橋
関 裕美 益之 上山 高橋
△高砂
新田 原田 才二(長野県)
新田 羽鳥 久子(西田中)

△昇天
氏名 年令 部落
新田 金沢 文美(西田中)
新田 江口 ヨシ(三田中)
新田 清作(西田中)
新田 清作(西田中)
新田 清作(西田中)

村の「ことわざ」

△天にゆく向って唾する様
△ふくべで(くじら) 〇〇〇〇
△尻と火事はもとから出る
△仏の顔も三度迄
△安請けはあてにならない
△油断は隙(すき)もあつたも
△縁でん猫の気まぐれ
△手ぶら八寶
△遠くの親類より近くの他人
△七度(ななたび) 〇〇〇〇
△一足のわらじは履けない
△乗って気もち悪いのは人の
△口車だけ
△墓に布団は着せられぬ
△小柳 定夫—採集—
△馬鹿があるから利口がある
△旅は有為ものつらいもの
△あたる前(まへ)は旅かぶつ
△言いたいことは明日言え
△親の因(よ)に報い
△から馬に怪我なし
△くだるものは夏でも小袖

